

「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用

1 回数券の共通利用

公共交通の利用促進、持続可能な公共交通の構築を目的に、東浦町運行バス「う・ら・ら」回数券の民間バス・タクシーでの共通利用事業を、令和4年10月1日から実施した。

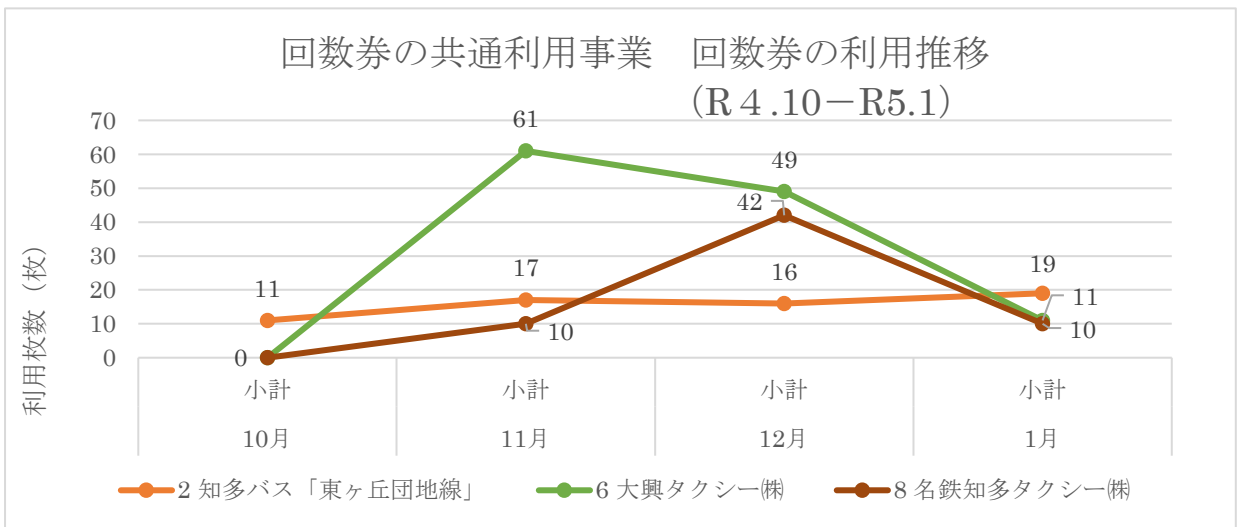
2 回数券の共通利用に関する実績

(1) 回数券の共通利用に関する利用実績

令和4年10月1日から令和5年1月31日の期間における、事業者・対象路線ごとの回数券の利用実績は下表のとおりである。

	10月				11月				12月				1月				計	計	計	計
	マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計	マイ レージ	自主 返納	バス	小計				
1 知多バス「大府線」	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 知多バス「東ヶ丘団地線」	0	0	11	11	1	0	16	17	0	0	16	16	0	0	19	19	1	0	62	63
3 安全タクシー(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 刈谷交通(株) 令和5年1月から	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 誠第一交通(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 大興タクシー(株)	0	0	0	0	0	11	50	61	0	0	49	49	0	0	11	11	0	11	110	121
7 株式会社多つぼめタクシー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 名鉄知多タクシー(株)	0	0	0	0	10	0	0	10	22	0	20	42	10	0	0	10	42	0	20	62
計	0	0	11	11	11	11	66	88	22	0	85	107	10	0	30	40	43	11	192	246

- 凡例
- 「マイレージ」…健康課で実施している「いきいきマイレージ事業」にて、ポイントと交換した回数券の利用枚数を指す。
 - 「自主返納」…住民自治課で実施している「高齢者運転免許自主返納支援事業」にて、交付した回数券の利用枚数を指す。
 - 「バス」…東浦町役場や各地区コミュニティセンター等にて、販売した回数券の利用枚数を指す。



(2) 考察

① 前回の会議から1ヶ月しか経っていないこともあり、民間バスについては、大きな変化はない。知多バス「大府線」は、まだ利用実績はなく、知多バス「東ヶ丘団地線」は、大きな増減はなかった。

タクシーについては、令和5年1月より、刈谷交通(株)が本事業に参加しているが、1月の利用はなかった。タクシー全体でみると、利用があったのは、大興タクシー(株)と名鉄知多タクシー(株)で、前月と比較すると減少している。

各事業者に聞き取りを行ったところ、例年、1月はタクシーの利用者数が減少する傾向があるとの回答があったため、このタクシーの利用減少に比例して、回数券の共通利用が減少したと考えられる。

② 共通利用されている「う・ら・ら」回数券の内訳をみると、購入した回数券の次に、いきいきマイレージで交換された回数券が利用された。また、いきいきマイレージの回数券の交換は、本事業を周知した9月に大きく増加したが、共通利用には繋がっていない状況である。

表 令和4年度回数券配付人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
いきいきマイレージ (1人1,000円分)	1	8	32	77	67	146	108	76	75	42	632
高齢者運転免許 自主返納 (1人6,000円分)	17	15	10	9	21	13	14	9	11	14	116

3 対策

① ポスター等を使った周知の拡大

➤ 知多バス(大府線、東ヶ丘団地線)のバス停に、案内チラシを掲示した。

➤ タクシー乗り場(緒川駅、石浜駅、東浦駅、イオンモール東浦)にも掲示できるよう、小さいサイズのポスターを作成中である。

また、タクシー各事業者用のチラシを作成し、車内でも案内できるよう準備をしている。

➤ その他、病院や公共施設などにも案内を広げていこうと考えている。

② タクシーの短距離移動について

タクシーの利用を控える原因の1つとして、「短距離だと、運転手さんに申し訳ない。」という声を多く聞く。そこで、タクシー用の案内チラシやポスターに、「短距離移動でも気兼ねなくご利用ください。」と記載する。

② いきいきマイレージで利用促進

多くの方が景品として「う・ら・ら」の回数券を交換していることから、ポイントの貯め方の1つ、「実践ポイント」の取組例として、『バスやタクシーを含む公共交通を利用して外出した。』という項目を令和5年度より追加する。



図 案内を掲示したバス停

③ おでかけ先の提案

高齢者の運転免許自主返納をされた方を中心に、公共交通パンフレットや地域版時刻表を案内し、車がなくてもおでかけできる環境をPRする。特に、自主返納された方は、公共交通への関心も高いと思われるため、積極的に公共交通全体の利用促進を図ることで、実際に利用していたき、心身の健康増進にも寄与していきたいと考えている。

また、広報やSNSを利用し、おでかけ先の提案をしていく予定である。

4 まとめ

町内発のタクシー利用台数は、令和3年度で14,871台であった。この台数からも、周知によって回数券共通利用の利用者数が大きく増加する見込みはあると考えられる。

また、今後の利用状況の推移を見ながら、必要な対策を講じ、持続可能な公共交通網の構築を目指していきたい。